

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-100181

(43) 公開日 平成7年(1995)4月18日

(51) Int. Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 H 39/04	B	7108-4C		
	M	7108-4C		
	X	7108-4C		
39/08	B	7108-4C		
A 6 1 N 5/06	A			

審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平5-277553

(22) 出願日 平成5年(1993)10月8日

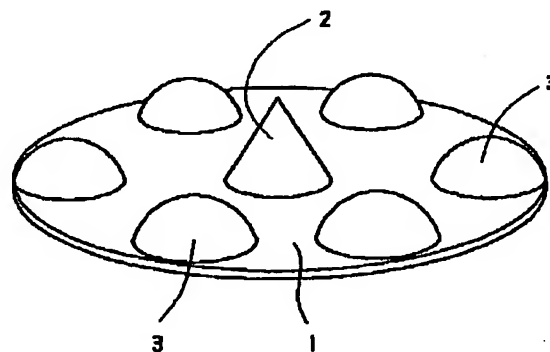
(71) 出願人 593203413  
横山製薬株式会社  
兵庫県明石市相生町二丁目2番16号  
(72) 発明者 米田 常男  
大阪府高槻市野田3丁目36-5  
(72) 発明者 江川 文生  
兵庫県明石市朝霧山手町7-18  
(74) 代理人 弁理士 濱田 俊明 (外2名)

(54) 【発明の名称】 つば治療用器具

(57) 【要約】

【目的】 簡易な構造で、指圧の代用としてのつば押さえと、鍼効果という相乗効果を達成できる治療用器具を提供する。

【構成】 薄肉シート状の台板の中央部に、頂上部を先鋭にした突起を形成すると共に、この突起の周囲には頂上部をなだらかにした複数の補助突起を形成し、上記先鋭な突起の高さより補助突起の高さを低くした。また、薄肉シート状の台板の中央部に、鍼挿通用の透孔を中心に有する台座を突成すると共に、この台座の周囲には頂上部をなだらかにした複数の補助突起を形成し、上記透孔を介して鍼先を上記台座の頂上から突出させた。素材としては軟質の合成樹脂を用い、遠赤外線を放射するファインセラミックス粉を混練した。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】薄肉シート状の台板の中央部に、頂上部を先鋭にした突起を形成すると共に、この突起の周囲には頂上部をなだらかにした複数の補助突起を形成し、上記先鋭な突起の高さより上記補助突起の高さを低くしたことを特徴とするつば治療用器具。

【請求項2】台板と先鋭な突起と補助突起とを軟質の合成樹脂で一体成形するにあたって、このシリコンには遠赤外線を放射するファインセラミックス粉を混練した請求項1記載のつば治療用器具。

【請求項3】薄肉シート状の台板の中央部に、鍼挿通用の透孔を中心に有する台座を突成すると共に、この台座の周囲には頂上部をなだらかにした複数の補助突起を形成し、上記透孔を介して鍼先を上記台座の頂上から突出させたことを特徴とするつば治療用器具。

【請求項4】台板と台座と補助突起とを軟質の合成樹脂で一体成形するにあたって、このシリコンには遠赤外線を放射するファインセラミックス粉を混練した請求項3記載のつば治療用器具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、肩こりなどで用いる器具に係り、つば押さえと鍼の効果を兼用した治療具に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来から肩こりなどを治療するための家庭用の簡易な器具は各種開発されており、例えば磁石と鍼を用いる技術としては実開昭59-164641号公報や実開昭60-43218号公報において公知である。また磁気治療具として豆粒大の磁石を粘着テープで皮膚に張り付ける技術も公知である。さらに、小豆そのものをテープでつばの部分に張り付ける民間療法も古くから広く知られるところである。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来の技術のうち、磁石と鍼を用いる技術では皮膚表面に磁界を形成することによって近辺の血行を良くすると同時に皮内に侵入した鍼によって刺激を与えるという相乗効果を目的とするものである。しかし、磁石に与えられた磁束密度の強さによって効果に差異がでてしまい、中央に透孔を形成した磁石材料を焼結して着磁するのはコストがかかるという課題もある。また、鍼は皮内まで突き刺すものであるから十分な衛生管理が求められ、パッケージングや取り扱いに注意を必要とする。一方、磁石を粘着テープで張り付けるものの場合でもやはり磁束密度で効果に差異がでると共に、磁石を形成するにはコストがかかるという課題もある。

【0004】本発明は上述した従来の課題を解決することを目的とするもので、簡易な構造で指圧の代用としてのつば押さえと、鍼効果という相乗効果を達成できる治

療用器具を提供するものである。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】上述した課題を解決するために、本発明では薄肉シート状の台板の中央部には頂上部を先鋭にした突起を形成し、この突起の周囲には頂上部をなだらかにした複数の補助突起を形成するという手段を用いた。そして、上記先鋭な突起の高さより上記補助突起の高さを低くした。

【0006】また、薄肉シート状の台板の中央部には鍼挿通用の透孔を中心に有する台座を突成すると共に、この台座の周囲には頂上部をなだらかにした複数の補助突起を形成し、上記透孔を介して鍼先を上記台座の頂上から突出させるという手段も用いた。

【0007】さらに、請求項1あるいは請求項3の台板と先鋭突起あるいは台座と補助突起とを軟質の合成樹脂で一体成形するにあたり、樹脂に遠赤外線を放射するファインセラミックス粉を混練する手段を選択的に用いた。

## 【0008】

20 【作用】請求項1の手段において、中央部に設けられた先鋭な突起は患部に粘着テープで圧接されることによって皮膚に突き刺さり、皮内鍼に類似する機能を発揮する。また周囲に設けられた補助突起は中央の先鋭突起の作用に補助的に働かせることを目的としたもので、なだらかな頂上部が皮膚表面を適度に押圧することによって、指圧の代用として機能するものである。即ち、鍼効果と指圧効果を相乗的に患部に働かせ、肩こりなどを治療する作用を行う。先鋭突起の高さを補助突起より高とした技術は、鍼機能をより積極的に発揮させるものである。

30 【0009】請求項3の手段において、中央部に設けられた台座は別途構成の皮内鍼を支持する作用を行うもので、透孔から鍼を突出させ、その分だけ皮膚に突き刺すようにしたものである。さらに、材質に遠赤外線を放射するファインセラミックス粉を混練する手段は、鍼効果と指圧効果に加えて温熱効果をも発揮させる。

## 【0010】

40 【実施例】以下、本発明の実施例を添付した図面に従って説明する。図1は本発明品の一実施例の斜視図であり、円板状の台板1の一面側中心部に円錐状の先鋭突起2を突出させ、台板1の周囲に沿った内周側には6等分する位置にそれぞれ半球状の補助突起3…3を設けたものである。これらは軟質の合成樹脂やシリコンによって一体成形される。先鋭突起2と補助突起3との高さの関係については、図2に示したように、先鋭突起2を補助突起3より幾分高い目にする。

50 【0011】この器具は、図3に示したように、突起を肩こりなど患部のつば側に向けて位置決めし、軽く押圧しながら粘着テープ4によって皮膚5に固定する。ここで、先鋭突起2は鍼に類似する効果を発揮するものであ

3

り、先端6が皮膚を局所的に刺激せしめるために円錐角は鋭角が好ましい。一方、補助突起3は先鋭突起2の周囲に位置して先鋭突起2の効果を補完し、指圧の代用とするものであるから、頂上はあまり先鋭でないほうが好ましい。例えば本実施例のように半球状が皮膚に均等に当接するので最適であるが、他にも半球の頂上を切除して小さい平面を形成した図4の構造や、四角錐の頂上を切除した図5の構造であってもほぼ同様の機能を達成することができる。三角錐、五角錐など、他の多角錐でも十分機能を達成することが可能である。また、本実施例では補助突起3は円周を6等分する位置にそれぞれ設けたが、個数は6個に限るものではなく、3等分位置に均等位置すれば3個になり、4等分位置に配置すれば4個必要となるように、自由に決定することができることはいうまでもない。ただし、あまり個数を多くすれば単位あたりの圧力が低下しすぎることになるので、10個未満が好ましい。

【0012】なお、本器具の組成としては上述したように軟質合成樹脂やシリコンを用いるが、樹脂中に遠赤外線を放射するファインセラミックス粉などを混練し、成形すれば、鍼効果と指圧効果に加えて遠赤外線効果も発揮することができ、肩こりなどでは血行を良くする効果は高い。

【0013】次に図6は図1の変形例であり、長方形の台板7の中央部には四角錐の先鋭突起8を設け、その両側辺には半球状の補助突起9を設けたものである。材質は第1の実施例と同様であり、先鋭突起8と補助突起9の関係についても同様である。また、遠赤外線を放射するファインセラミックス粉を混練することがある点についても同様である。本実施例では1個の先鋭突起8と2個の補助突起9・9を備えたので、第1の実施例と比較すれば細幅にすることができ、患部に合わせて第1の実施例とこの変形例を使い分けすることができる。

【0014】なお、上述した2つの実施例は台板を一方は円板、他方は長方形としたが、他にも正方形や楕円形状としても達成する機能、効果が変わるところはない。

【0015】さらに、図7は本発明器具の第2の実施例を示す斜視図であり、皮内鍼を組み合わせたものである。図中、10は円板状の台板、11は台板10の周囲を6等分し、内周に沿って設けられた半球状の補助突起であり、第1の実施例と同様の構造である。12は皮内鍼、13は皮内鍼12の台座である。台座13と皮内鍼12の詳細な構成は、図8の断面図に明らかである。即ち、図8は本器具を人体に使用したところを示すものであり、台座13の中央には透孔14が設けられており、皮内鍼12の基部15を屈曲させて支持部とし、透孔14の裏側から皮内鍼12を表面側に突出するように位置させ、粘着テープ16で固定したものである。本実施例においても、素材は第1の実施例と同様に軟質合成樹脂、シリコンなどを用い、選択的に遠赤外線を放射するファ

4

インセラミックス粉を混練することがある。

【0016】続いて図9は図7の第2実施例の変形例を示したもので、図1と図6の関係と同様に台板17を長方形とし、中央部に鍼の台座18を一体成形すると同時にその両側に半球状の補助突起19を形成したものである。台座18および補助突起19の構造は図7の実施例と同様であり、材質や用途の違いなどについても既に説明したところである。

【0017】

【発明の効果】本発明では上述した構成を採用したので、鍼効果と指圧代用効果という2種類の異なる効果を達成することができ、相乗的に働くことによってより有効な治療が可能となった。また鍼だけであるとなつばの特定が困難であるが、指圧効果を共用しているので部位の特定の許容範囲は広く、素人でも容易に使用できるうえ皮内深く鍼を打つのではないので衛生面でも安全である。特に請求項1の発明では安全性はより高い。

【0018】さらに、軟質の合成樹脂に遠赤外線を放射するファインセラミックス粉を混練した技術では、患部に対する温熱効果を発揮するので、3種類の効果が相乗的に作用し、肩こり治療にさらに有効な器具とすることができた。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1実施例を示す斜視図、

【図2】同、断面図、

【図3】同、使用例を示す断面図、

【図4】補助突起の変形例を示す斜視図、

【図5】同、補助突起の別の変形例を示す斜視図、

【図6】第1実施例の変形例を示す斜視図、

【図7】第2実施例を示す斜視図、

【図8】同、断面図、

【図9】第2実施例の変形例を示す斜視図である。

【符号の説明】

1 台板

2 先鋭突起

3 補助突起

4 粘着テープ

5 皮膚

6 先端

7 台板

8 先鋭突起

9 補助突起

10 台板

11 補助突起

12 皮内鍼

13 台座

14 透孔

15 基部

16 粘着テープ

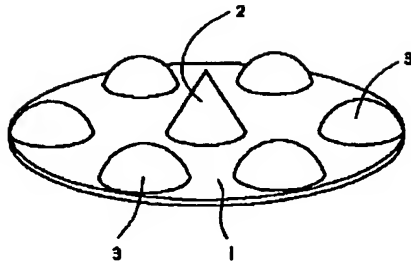
17 台板

18 台座

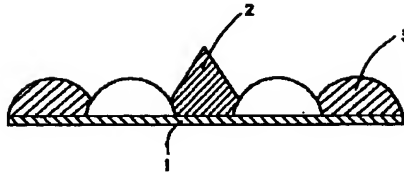
5

6

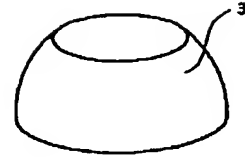
【図1】



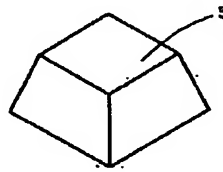
【図2】



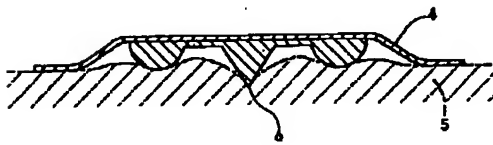
【図4】



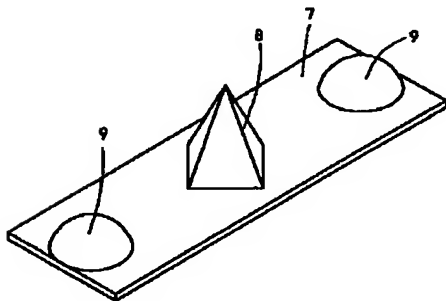
【図5】



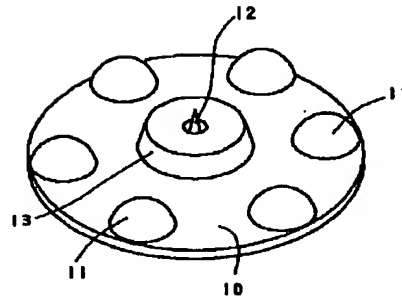
【図3】



【図6】

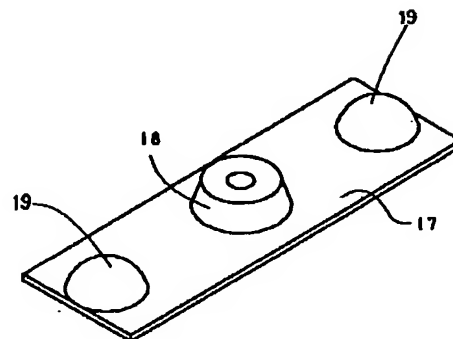
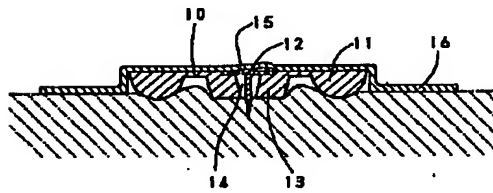


【図7】



【図9】

【図8】



## 【手続補正書】

【提出日】平成6年9月28日

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項2】台板と先鋭な突起と補助突起とを軟質の合成樹脂で一体成形するにあたって、この合成樹脂には遠赤外線を放射するファインセラミックス粉を混練した請求項1記載のつば治療用器具。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正内容】

【請求項4】台板と台座と補助突起とを軟質の合成樹脂で一体成形するにあたって、この合成樹脂には遠赤外線を放射するファインセラミックス粉を混練した請求項3記載のつば治療用器具。

PAT-NO: JP407100181A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07100181 A  
TITLE: INSTRUMENT FOR TREATING MERIDIAN  
POINT  
PUBN-DATE: April 18, 1995

INVENTOR-INFORMATION:  
NAME  
YONEDA, TSUNEO  
EGAWA, FUMIO

ASSIGNEE-INFORMATION:  
NAME COUNTRY  
YOKOYAMA SEIYAKU KK N/A

APPL-NO: JP05277553  
APPL-DATE: October 8, 1993

INT-CL (IPC): A61H039/04, A61H039/08 , A61N005/06

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide an instrument capable of achieving a synergistic effect between pressing meridian points in place of finger-pressure therapy and acupuncture with a simple structure.

CONSTITUTION: In the center of a base plate 1 like a thin sheet, an acute projection 2 is formed and several auxiliary hemisphere projections 3 are formed around the acute projection 2 so that each of the auxiliary projections is lower than the acute projection 2. The acute projection 2 has a through

hole to pierce a needle for acupuncture, and the top of the needle is projected over the acute projection. A soft synthetic resin is used as a material and fine ceramic powder which radiates far infrared rays is kneaded with the synthetic resin.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

\* NOTICES \*

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. \*\*\*\* shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

---

DETAILED DESCRIPTION

---

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Industrial Application] this invention relates to the instrument used by the stiffness of the shoulders etc., and relates to the treatment implement which made the effect of a jar presser foot and acupuncture serve a double purpose.

[0002]

[Description of the Prior Art] Various development is carried out, for example, the simple instrument for home use for treating the stiffness of the shoulders etc. from the former is well-known in JP,59-164641,U or JP,60-43218,U as technology using a magnet and acupuncture. Moreover, the technology of sticking the magnet of \*\*\*\* size on the skin by the adhesive tape as a magnetic treatment implement is also well-known. Furthermore, the folk remedies which stick the adzuki bean itself on the portion of a jar on a tape are also large for many years, and it is just going to be known.

[0003]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] among the above-mentioned Prior arts, with the technology using a magnet and acupuncture, it aims at the synergistic effect of giving a stimulus with the acupuncture which invaded in the hide at the same time it improves circulation which is the neighborhood by forming a magnetic field in a skin front face. However, a difference will appear in an effect by the strength of the flux density given to the magnet, and sintering and magnetizing the magnet material which formed the bore in the center also has the technical problem that cost starts. Moreover, since it thrusts into a hide, sufficient health administration is called for, and acupuncture needs cautions for packaging or handling. On the other hand, although a magnet is stuck by the adhesive tape, while a difference appears in an effect with mist beam flux density by the case, the technical problem that cost starts forming a magnet also occurs.

[0004] the treatment which can attain the synergistic effect of the jar presser foot and the acupuncture effect as substitution of acupressure with simple structure for the purpose of this invention solving the conventional technical problem mentioned above -- an instrument -- an implement is offered

[0005]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] In order to solve the technical problem mentioned above, in this invention, the salient which made the summit section acute was formed in the center section of the light-gage sheet-like base plate, and a means to form two or more auxiliary salients which made the summit section gently-sloping was used for the circumference of this salient. and the above -- the height of the above-mentioned auxiliary salient was made lower than the height of an acute salient

[0006] Moreover, while \*\*\*\*(ing) the plinth which it has focusing on the bore for acupuncture insertion in the center section of the light-gage sheet-like base plate, two or more auxiliary salients which made the summit section gently-sloping were formed in the circumference of this plinth, and the means of making the acupuncture point project from the summit of the above-mentioned plinth through the above-mentioned bore was also used.

[0007] Furthermore, a means to knead the fine-ceramics powder which emits far infrared rays to a resin was alternatively used in really fabricating the base plate of a claim 1 or a claim 3, an acute salient, or a plinth and an auxiliary salient by elastic synthetic resin.

[0008]

[Function] In the means of a claim 1, by carrying out a pressure welding to the affected part by the adhesive tape, the acute salient prepared in the center section is pierced in the skin, and demonstrates a function similar to \*\*\*\*\*. Moreover, the auxiliary salient prepared in the circumference is a thing aiming at working an operation of a central acute salient auxiliary, and when the gently-sloping summit section presses a skin front face moderately, it functions as substitution of acupressure. Namely, the acupuncture effect and a finger. The technology which made the height of an acute salient higher than an auxiliary salient demonstrates an acupuncture function more positively.

[0009] In the means of a claim 3, the plinth prepared in the center section performs the operation which supports \*\*\*\*\* of composition separately, and makes acupuncture project from a bore, and only the part thrusts it into the skin. Furthermore, a means to knead the fine-ceramics powder which emits far infrared rays to the quality of the material is the acupuncture effect and a finger.

[0010]

[Example] Hereafter, it explains according to the drawing which appended the example of this invention. Drawing 1 is the perspective diagram of one example of this invention article, makes the acute cone-like salient 2 project to the whole surface side



core of the disc-like base plate 1, and forms the auxiliary semi-sphere-like salient 3--3 in the position equally divided into six at the inner circumference side in alignment with the circumference of a base plate 1, respectively. These are really fabricated with elastic synthetic resin and elastic silicon. higher [ in the acute salient 2 / what minute ] about the relation of the height of the acute salient 2 and the auxiliary salient 3, than the auxiliary salient 3, as shown in drawing 2 -- it sees

[0011] This instrument is fixed to the skin 5 by the adhesive tape 4, turning a salient to the jar side of the affected part, such as the stiffness of the shoulders, positioning it, and pressing lightly, as shown in drawing 3 . Here, in order for the acute salient 2 to demonstrate an effect similar to acupuncture and for a nose of cam 6 to make the skin stimulate locally, the acute angle of a cone is desirable. On the other hand, since the auxiliary salient 3 is located in the circumference of the acute salient 2, complements the effect of the acute salient 2 and considers as substitution of acupressure, the way of a summit which is not not much acute is desirable [ the salient ]. For example, although it is an optimum since the shape of a semi-sphere contacts the skin equally like this example, even if it is the structure of drawing 4 which otherwise excised the summit of a semi-sphere and formed the small flat surface, and the structure of drawing 5 which excised the summit of square weight, the almost same function can be attained. It is possible to attain a function enough with other multiple weights, such as triangular weight and the Gosumi weight. Moreover, although the auxiliary salient 3 prepared the periphery in the position equally divided into six in this example, respectively, it cannot be overemphasized that it can determine freely so that the number is not restricted to six pieces, it will become three pieces if \*\* etc. is located in 3 division-into-equal-parts position, and four pieces may be needed, if it arranges in 4 division-into-equal-parts position. However, since the pressure per unit will decline too much if the number is made [ many ] not much, less than ten pieces are desirable.

[0012] In addition, although elasticity synthetic resin and silicon are used as mentioned above as composition of this instrument, if the fine-ceramics powder which emits far infrared rays into a resin is kneaded and fabricated, they will be the acupuncture effect and a finger.

[0013] Next, drawing 6 is the modification of drawing 1 , forms the acute salient 8 of square weight in the center section of the rectangular base plate 7, and forms the auxiliary semi-sphere-like salient 9 the both-sides side. The quality of the material is the same as the 1st example, and is the same also about the relation between the acute salient 8 and the auxiliary salient 9. Moreover, the same is said of the point which may knead the fine-ceramics powder which emits far infrared rays. In this example, since it had one acute salient 8 and two auxiliary salients 9-9, if it compares with the 1st example, it can be made a narrow width and the 1st example and this modification can be properly used according to the affected part.

[0014] In addition, there is no place which changes to the function to attain a base plate as a square or elliptical otherwise although one side made it as the disk and another side made the rectangle two examples mentioned above, and an effect.

[0015] Furthermore, drawing 7 is the perspective diagram showing the 2nd example of this invention instrument, and combines \*\*\*\*\*. Among drawing, a base plate disc-like in ten and 11 are the auxiliary salients of the shape of a semi-sphere which divided the circumference of a base plate 10 into six equally, and was established along with inner circumference, and are the same structure as the 1st example. 12 is \*\*\*\*\* and 13 is the plinth of \*\*\*\*\* 12. The detailed composition of a plinth 13 and \*\*\*\*\* 12 is clear to the cross section of drawing 8 . That is, the place which used this instrument for the human body is shown, the bore 14 is formed in the center of a plinth 13, drawing 8 makes the base 15 of \*\*\*\*\* 12 crooked, considers as a supporter, it is located so that \*\*\*\*\* 12 may be projected in a front-face side from the background of a bore 14, and it is fixed by the adhesive tape 16. Also in this example, a material may knead the fine-ceramics powder which emits far infrared rays alternatively using elasticity synthetic resin, silicon, etc. like the 1st example.

[0016] Then, it is what showed the modification of the 2nd example of drawing 7 , drawing 9 makes a base plate 17 a rectangle like drawing 1 and the relation of drawing 6 , and it forms the auxiliary semi-sphere-like salient 19 in the both sides at the same time it really fabricates the plinth 18 of acupuncture in the center section. The structure of a plinth 18 and the auxiliary salient 19 is the same as the example of drawing 7 , and it also just already explained the quality of the material and the difference in a use.

[0017] [Effect of the Invention] in this invention, since the composition mentioned above was adopted, two kinds of the acupuncture effect and the acupressure substitution effect of different effects can be attained, and it works in multiplication -- more effective treatment was attained by things Moreover, it is a finger although specification of a jar is difficult in it being only acupuncture. In invention of a claim 1, especially safety is more high.

[0018] Furthermore, with the technology which kneaded the fine-ceramics powder which emits far infrared rays to elastic synthetic resin, since the warm temperature effect over the affected part was demonstrated, three kinds of effects were able to act in multiplication, and were able to consider as the instrument still more effective in stiffness-of-the-shoulders treatment.

[Translation done.]